

A 基本の書き換え

全8問の解答・解説 | 練習用

記述は、必要な内容と問いの条件を満たす別の表現も正答です。

歴史的仮名遣い・提示した訓を用います。句読点の有無は不問。

問1

答え・解答例 イ

解説 原文を訓点に従って日本語の語順に直し、文語で書く。現代語訳とは区別する。

問2

答え・解答例 書を読む。

解説 レ点で「書」を先に読む。

問3

答え・解答例 月を見ず。

解説 月→見→不。「不ズ」の打消しを落とさない。

問4

答え・解答例 古書を読む。

解説 古書→読。一点まで読んで二点の読に戻る。

A 基本の書き換え

全8問の解答・解説 | 練習用 つづき

問5

答え・解答例 ウ

解説 返り点は読むための記号なので書き下し文には残さない。送り仮名は平仮名に直す。

問6

答え・解答例 吾、友に会ふ。

解説 「会フ」は「会ふ」と書く。この問題では現代仮名遣いの「会う」にしない。

別解・許容 「吾」を「我」「われ」としても可。読点の有無は不問。

問7

答え・解答例 ア

解説 「ず」は打消し。「読んではいけない」の禁止とは異なる。

問8

答え・解答例 置き字

解説 この訓読では而を独立して読まず、「学びて」の接続に意味を反映する。

B 論語の短い文を読む

全8問の解答・解説 | 練習用

記述は、必要な内容と問いの条件を満たす別の表現も正答です。

歴史的仮名遣い・提示した訓を用います。句読点の有無は不問。

問1

答え・解答例 学びて時に之を習ふ。

解説 之を先に読んで習へ返る。而はこの訓読では置き字。

別解・許容 「之」を「これ」と書いても可。「習ふ」は歴史的仮名遣い。

問2

答え・解答例 学んだこと。

解説 「学びて」を受け、学んだ内容を繰り返し確かめる。

問3

答え・解答例 イ

解説 学んだことを折にふれて繰り返すという意味。

問4

答え・解答例 故きを温ねて新しきを知る。

解説 故→温、新→知の順。温ねては「たづねて」と読む。

別解・許容 「故きをたづねて新しきを知る。」も可。示した訓に従う問題のため、「あたためて」はここでは採らない。

B 論語の短い文を読む

全8問の解答・解説 | 練習用 つづき

問5

答え・解答例 以前に学んだことを学び直し、新しい理解を得る。

解説 温度を上げる意味ではなく、学び直すことを表す。

別解・許容 「昔のことを研究して、新たな知識や理解を得る」なども可。

問6

答え・解答例 学びて思はざれば則ち罔し。

解説 不は「ざれば」と読む。思ハ＋不ザレバで「思はざれば」。

別解・許容 読点を「学びて」の後に入れても可。「則ち」を「すなはち」、「罔し」を「くらし」としても可。

問7

答え・解答例 思ひて学ばざれば則ち殆し。

解説 思ヒテと学バを、文語の形のまま書く。

別解・許容 「則ち」を「すなはち」、「殆し」を「あやふし」としても可。

問8

答え・解答例 人から学ぶことと、自分で考えることの両方が必要だという関係。

解説 それぞれ一方だけの場合の欠点が対にして述べられている。

別解・許容 学ぶだけ・考えるだけでは十分でなく、両方を行う、という内容なら可。

C 誤り直しと説明

全8問の解答・解説 | 練習用

記述は、必要な内容と問いの条件を満たす別の表現も正答です。

歴史的仮名遣い・提示した訓を用います。句読点の有無は不問。

問1

答え・解答例 古書を読まず。

解説 不ズと結ぶ動詞は「読マ」。送り仮名の「マ」を見落とさない。

問2

答え・解答例 而。この訓読では独立して読まない置き字だから。

解説 而のつなぐ意味は「学びて」の「て」に反映される。

問3

答え・解答例 前者が書き下し文、後者が現代語訳。

解説 書き下し文は文語と原文の表現を保つ。現代語訳は今の言葉で意味を表す。

問4

答え・解答例 未だ学ばず。

解説 未→学→未の二度読みをする。意味は「まだ学んでいない」。

別解・許容 「いまだ学ばず。」も可。

C 誤り直しと説明

全8問の解答・解説 | 練習用 つづき

問5

答え・解答例 未を初めに「いまだ」、後で「ず」と二度読む点。

解説 返り点だけの順序表では足りず、再読文字の読み方も必要。

問6

答え・解答例 思ひて・習ふ・会ふ

解説 現代語の「思って・習う・会う」へ置き換えない。

問7

答え・解答例 正しくない。「書を読まず」となり、不の打消しを「ず」で表す必要があるから。

解説 不は置き字ではなく、この例では後から「ず」と読む。

問8

答え・解答例 「之」も「これ」も同じ読みで、同じ学んだ内容を指すから。

解説 この教材は代名詞の漢字・仮名表記の違いを許容する。ただし指定がある問題では従う。

D 定期テスト対策

全8問の解答・解説 | Dのみ100点

記述は、必要な内容と問いの条件を満たす別の表現も正答です。

歴史的仮名遣い・提示した訓を用います。句読点の有無は不問。

問1〔10点〕

答え・解答例 書を読まず。

解説 書→読→不。「読マ」「不ズ」を合わせる。

採点 書を5点、読まず5点。

問2〔10点〕

答え・解答例 吾、明月を見る。

解説 吾を先に読み、明月から見へ返る。

別解・許容 吾／我／われ、読点の有無は不問。

採点 吾3点、明月を3点、見る4点。

問3〔15点〕

答え・解答例 父母を忘れず。

解説 父母→忘→不。打消しを落とさない。

採点 父母を5点、忘れ5点、ず5点。

D 定期テスト対策

全8問の解答・解説 | Dのみ100点 つづき

問4〔10点〕

答え・解答例 置き字

解説 置き字は原文から不要という意味ではない。接続などの働きがある。

採点 置き字／置字で10点。

問5〔10点〕

答え・解答例 考えなければ。

解説 漢文の訓読では、ここでの「ざれば」を「～なければ」という条件で訳す。

別解・許容 考えないと／自分で考えなければ、も可。

採点 考えること5点、打消しの条件5点。

問6〔15点〕

答え・解答例 人知らずして慍みず。

解説 人→知→不、慍→不。人が自分を認めなくても怒らないという意味。

別解・許容 「人、知らずして慍みず。」 「人知らずしてうらみず。」も可。本文の送り仮名「ミ」に従う。

採点 人知らずして8点、慍みず7点。

D 定期テスト対策

全8問の解答・解説 | Dのみ100点 つづき

問7〔10点〕

答え・解答例 現代語訳。「古書」を「古い本」と今の分かりやすい言葉に言い換えているから。

解説 この問題では語を言い換えた操作に注目する。

採点 現代語訳5点、古書を古い本へ言い換えたこと5点。

問8〔20点〕

答え・解答例 「未だ学ばず」はまだ学んでいないという意味で、「学ばず」は単に学ばないという意味。

解説 未には、ある事柄が現時点ではまだ実現していないという意味がある。

採点 未だ学ばず＝まだ学んでいない10点。学ばず＝単なる打消し10点。